

Cortina/Aerial, Sochi/Mogul, Athens/Marathon (FY10) USB Serial[¶]

USBポートのUSB Gadget Serial[¶]

PC 側の準備[¶]

USBポートのUSB Gadget Serial
PC 側の準備
使い方
BBのUSB Serialポート
PC 側の準備
使い方

Windows xpのSP2以降を使用してください。

1. DOSコマンドプロンプトを実行してください。
2. 適当なディレクトリを作成して、作成したディレクトリへ移動してください。

例)

```
cd \  
md USBGadtetSerial  
cd USBGadtetSerial
```

3. 下記のように実行してください。

```
expand C:\WINDOWS\Driver~1\i386\sp2.cab -F:usbser.sys .
```

4. このファイルを、2で作成したディレクトリに保存してください。
5. BBかセットに、特殊MSを入れて、Recovery起動?してください。
特殊MSに"PRS-900 Updater.package"ファイルが無いようにしてください。
6. Recovery起動?した、BBかセットを、USBでPCに接続してください。
7. ドライバ・ウィザードが実行されたら、「任意の場所を指定する」で、2で作成したディレクトリを指定し、ドライバのインストールを完了してください。
ドライバのインストールは、時間が掛かります。

ドライバ・ウィザードが実行されない場合は、「コンピュータの管理」の「デバイス マネージャ」を開いて、不明なデバイスになっていないかどうか確認してください。不明なデバイスになっている場合は、ドライバのインストールを実行してください。

使い方[¶]

1. BBもしくはセットを、特殊MSを挿入した状態で、Recovery起動?します。
特殊MSに"PRS-* Updater.package"ファイルが無いようにしてください。
 2. USBで、PCへ接続します。
 3. シリアル・コンソール・アプリ(TeraTermなど)を起動して、COMに接続してください。
USBで接続したBBもしくはセットは、"Gadget Serial"と名前が付いたCOMポートになっています。
 4. COMに接続したら、リターンキーを押してください。
ログインプロンプトが出力されます。
- 使用後は、シリアル・コンソール・アプリを終了してから、USB接続を解除してください。

BBのUSB Serialポート[¶]

PC 側の準備

1. [FTDIのサイト](#)から、FT232Rのドライバアーカイブを取得し、ローカルディスクに展開する。
 - Windows Updateで、ダウンロード済みの場合があります。
2. BBのUSB SerialをPCへ接続する。
 - BBの電源は入れなくて良いです。
 - BBのシリアルをUSB Serial側へ変更しなくても、準備に支障はありません。
3. "FT232R USB UART"のドライバ・インストール・ウィザードが表示された場合は、展開したアーカイブのディレクトリを指定してドライバをインストールしてください。
 - ウィザードが表示されなかった場合は、ドライバは既にインストールされています。
 - ウィザードの途中で、どのドライバを使用するか選択を必要とする場合がありますが、新しいバージョンを選択してください。
 - ウィザードは2回実行される場合があります。
 - ウィザードが完了すると、COMとして"USB Serial Port"が追加されます。

使い方

1. BBのシリアルをUSB Serial側へ変更してください。
2. COMの設定は、シリアル接続と同じです。

ボーレート	115200
データ	8bit
パリティ	無し
ストップ	1bit
フローコントロール	無し

- [Athens/Marathon \(FY10\) Development Environment](#)
- [Sochi/Mogul \(FY10\) Development Environment](#)
- [Cortina/Aerial \(FY10\) Development Environment](#)